

令和5年度 アンケート調査 (令和4年度完成工事) 【静岡県発注工事】

1. 入札前における問題点・要望点・提案事項

(設計計算、積算、質問事項、入札条件、見積り条件、施工条件、配置技術者 等)

提案・要望	回答	担当課
<p>1. 舗装の傷み具合から 2 層での切削オーバーレイを提案しましたが、国の交付金事業であったので、表層でしか予算を割り当てられないと回答されました。国の交付金事業であっても、臨機応変な対応をするようにして頂きたい。</p> <p>「令和4年度(主)熱海函南線舗装修繕工事(切削オーバーレイ工)」 (沼津土木事務所)</p>	<p>舗装補修において、事業ごとに内容が決まっています。ご指摘のようなことがないよう、工事発注前の事前調査を入念に行い、現場状況に応じた適切な工法を採用できるよう努めてまいります。</p>	<p>道路保全課</p>
<p>2. 入札条件で出水期(6月15日から10月31日)までと記載のある河川工事を3月に受注し書類作成等の準備期間が1ヶ月かかり4月の上旬から本格的に現場着手しようとしたのですが、担当監督員の異動により引継ぎがうまくできていないため、鋼矢板打込みの設計があったにも関わらず矢板の賃料・損耗費・仮設材運搬費計上がなく、前任者にも照査で質問しましたが協議するとのことでした。赴任者も内容が判っておらず矢板決定計算書を提出しましたが、決定するのに時間を費やしたため出水期までの施工期間がなくなってしまい、工程に影響を及ぼしております。今後このような工事を発注するのであれば出水期を考慮して発注をして頂きたい。</p> <p>「令和4年度二級河川二条川国土強靱化対策(総合流域防災工事(根継工))」(下田土木事務所)</p>	<p>今後も、監督員の引継ぎに漏れが生じないよう、受発注者間で交わした協議書等の書類を管理する他、特に留意点等を書面上で残した上で引継ぐよう周知を図っていきます。また、現場条件を把握した上で、工期を設定し工事を発注するよう周知してまいります。</p>	<p>技術調査課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

<p>3. 施工条件明示の中で工事用信号機の検討の記載がありますが、公安委員会との調整が必要であるため、事前に発注者が打合せをするようにして頂きたい。 「令和4年度(国)473号道路改築工事(県道付替え工その2)」(島田土木事務所)</p>	<p>交通誘導警備員を含めた人手不足や高齢化が問題となっている現状において、工事用信号機の活用は効果的な対策と考えております。道路使用許可申請の前の段階で、公安委員会に工事用信号機の使用について相談できることを周知してまいります。</p>	<p>道路保全課</p>
<p>4. 本工事はR5年3月20日が工期着手日で、施工条件明示事項に濁水期内の施工とする(R5年5月31日まで)と記載されています。バックホウ山積0.8m<sup>3</sup>が設計計上されており、運搬には特殊車両通行許可が必要となり、許可申請の受理まで1ヶ月かかります。施工実稼働日数で工程を検討した場合に、R5年5月31日までに河川内の工事を完了することが難しいので、準備期間を考慮した工期設定および発注時期の検討をお願いしたい。 「令和4年度 二級河川瀬戸川国土強靱化対策(総合流域防災)工事(河床掘削工)」(島田土木事務所)</p>	<p>関係機関との協議や手続き等を含めた準備期間を考慮した上で適正な工期設定を行うよう周知徹底に努めます。</p>	<p>技術調査課</p>
<p>5. 前年度工事で金額合わせの為に大量の二次製品を購入し、現場にストックしてあった為、今年度工事の設計で支給品計上されました。しかし、支給品控除の経費計算がされていなかったため、変更のお願いをしましたが応じて頂けませんでした。経費金額が300~400万円増額になる予定でしたが変更されませんでした。契約書に準じた対応をして頂きたい。 「令和4年度(国)473号道路改築工事(道路拡幅工)」(島田土木事務所)</p>	<p>個別の案件に対する回答は控えますが、基準書上は、一般材料費の支給品は、一般管理費のみが対象外であり、共通仮設費と現場管理費が対象となります。</p>	<p>技術調査課 道路整備課</p>
<p>6. 舗装版の切断の汚水処理の処分費用は設計に計上されたり、されなかったりしますが、理由をご教授願います。計上されても余りにも少量のため、一式請求される事が多く、設計とかけ離れた金額になります。実態に合った計上をして頂きたい。 「令和4年度(国)473号災害復旧工事」(島田土木事務所)</p>	<p>舗装版の切断で生じる汚水処理は処分費を計上し適正に処理する必要があることから、適正な価格で計上するよう改めて周知していきます。</p>	<p>道路保全課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

2. 着手前における問題点・要望点・提案事項

(当初図面、設計精度、設計照査、地元説明、支障物件、事前調査、関係機関との調整 等)

提案・要望	回答	担当課
<p>1. 着手前だが工事箇所にて廃棄（流動化処理土充填）水道管がありました。工事の予定があるのであれば事前に撤去するようにして頂きたい。</p> <p>「令和 4 年度 静浦港葦山停車場線舗装修繕工事」（沼津土木事務所）「(主) 島田吉田線舗装修繕工事（舗装打換工）」（島田土木事務所）</p>	<p>支障物件が事前に確認できる場合は、工事発注前に関係機関と調整を進めるよう再度周知します。また、やむを得ない理由により事前調整できない場合は、施工条件明示事項にその旨明記します。</p>	<p>技術調査課</p>
<p>2. 当初図面の仮設計画では現場条件とかなりの乖離があり、施工不可能な状況でした。特に災害復旧工事では、コンサルだけの机上の計画では施工可能な計画まで求めるのは不可能ではないかと思えます。各建設業協会の意見も取り入れ仮設計画の立案をして頂きたい。</p> <p>「令和 4 年度 一級河川大場川 3 年河川災害復旧（過）工事 3 年災害査定第 61 号」（沼津土木事務所）</p>	<p>設計業務の成果品納入時には、照査結果、工事の発注にあたっては、施工計画、仮設計画などを改めて確認するよう周知します。また、必要に応じて施工管理技士会への技術支援が依頼できることも併せて周知します。</p>	<p>技術調査課</p>
<p>3. 舗装の維持修繕工事において、前回の施工実績でクラック防止シートが敷設してあるのか調査して頂きたい。（以前使用していたガラス繊維入りのクラック防止シートが廃材に混入すると再生処理施設での受け入れができない為）</p> <p>「令和 4 年度(主) 熱海函南線舗装修繕工事(切削オーバーレイ工）」（沼津土木事務所）</p>	<p>県においては、クラック防止シートが敷設された箇所をすべて把握できておりません。</p> <p>ご指摘を受けまして、今後施工する箇所においては、敷設箇所を把握してまいります。</p>	<p>道路保全課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

<p>4. 設計図書の照査において前年の工事(第3工区・第4工区)では軽微な差異等あったものの特に問題はなかったのですが、今回工事(第5工区)では施工範囲の不一致、図面と数量調書の不整合、施工が必要とされる補修対象の未計上、前年より繰り越した補修対象の未計上があり、誤施工や工事費の変動等が発生する問題があります。改善して頂きたい。</p> <p>「令和4年度(国)136号橋梁補修工事(天狗橋第5工区)」(下田土木事務所)</p>	<p>工事の発注にあたっては、前回工事との整合を考慮し、設計書や図面、数量表を精査の上、ミスのないよう発注するよう周知してまいります。</p>	<p>技術調査課 道路整備課</p>
<p>5. 県・市がお互いに関係する箇所の災害復旧において、仮設工及び管轄境の擦りつけ工種の施工が未計上でした。どちらも工種の追加は出来ず、現設計工種の対応しか出来ないと言うことでした。災害復旧工事の場合、官庁間で柔軟に対応して頂きたい。</p> <p>「令和4年度 二級河川原野谷川4年災害復旧工事」(袋井土木事務所)「令和4年度 天竜川支川河内沢川(龍山)砂防工事」(浜松土木事務所)</p>	<p>県市が関係する災害復旧工事においては、災害査定申請にあたって、仮設工や擦りつけ工が未計上とならないよう、十分に調整するよう周知してまいります。</p>	<p>土木防災課</p>
<p>6. 年度代わりで担当者の異動が分かっていたため、前任の担当者に「提出書類は担当者が変更してから提出してほしい。変わってから提出しても1カ月以内なので問題ない。」と言われたため、担当者変更後すぐに書類を提出したが、後任の担当者に「前任の時に出してほしかった。引継ぎしたばかりで内容を把握できていないので困る。期日もギリギリのため評価が下がる。」と言われました。事務所で引継ぎを行い対応して頂きたい。</p> <p>「令和3年度 西方川総合流域防災対策工事(仮橋・工事用道路撤去工)」(袋井土木事務所)</p>	<p>監督員の引継ぎに漏れが生じないよう、受発注者間で交わした協議書等の書類を管理する他、特に留意点等を書面上で残した上で引継ぐよう周知を図ってまいります。</p>	<p>技術調査課</p>
<p>7. 掘削土の処分単価について、工事着手前(R4.10月)に処分場の単価がアップしたにもかかわらず、差額については工事費に反映されませんでした。(R4.8月に当初契約。R5.1月末から残土処分に着手)</p>	<p>令和4年10月26日付け「静岡県盛土等の規制に関する条例施行に伴う建設発生土受入れ条件見直しへの対応について(通知)」のとおり、令和4年度に限り、単価を含めた必要経費の設計変更が可能と</p>	<p>技術調査課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

<p>あくまで処分場は『発注者指定』であることから、単価のアップについては工事費に反映して頂きたい。また、工事着手前の時点で指定処分場にて設計掘削土量を全て受入れることが困難であるとの回答を得たことから、必要時期に受入れ可能な処分場を当社で探して対応(協議変更)することになりました。本工事だけに限らず、現在、必要時期に受入れ可能な処分場を確保して発注している工事は少ないと思われます。工事の一部・一時中止のリスクも高く、処分場の確実な確保と工事発注を一体として捉えて、喫緊の課題として取り組む様お願いしたい。</p> <p>「令和4年度 堀留川広域河川改修工事(護岸工その2)」(浜松土木事務所)  「令和4年度(国)473号道路改築工事(県道付替え工その2)」(島田土木事務所)</p>	<p>なる取扱いを発出しました。ただし、本通知は「条例」施行に伴う特別な対応であり、現在は、契約後に単価を変更しない基本的な考えに基づき単価の変更は行いません。また、ご指摘のように、発生土の性状や施設の状況によっては受入れができない場合があるため、工事の発注にあたっては、事前に受入れの可否を確認することを徹底し、契約後に生じた条件変更に対しては適切に対応するよう周知に努めてまいります。</p>	
---	--	--

3. 施工中における問題点・要望点・提案事項

(現場推進会議、技術・工法、工事一時中止、協議・指示等)

提案・要望	回答	担当課
<p>1. 狭小地での作業で、BH0.8m<sup>3</sup>での設計で搬入が不可能だった為、BH0.45m<sup>3</sup>で作業をおこないました。変更協議を行ったが認められなかったため、現場にあった設計をして頂きたい。</p> <p>「令和2年度 一級河川境川総合流域防災対策工事(護岸工その1)」(沼津土木事務所)</p>	<p>工事の発注にあつては、現地や設計図面を確認の上発注するよう再度周知を図ります。契約後に判明した場合は、設計変更の必要性を十分に整理の上協議するようお願いします。</p>	<p>技術調査課</p>
<p>2. 前年の工事(第3工区)で施工したコンクリート床板のひび割れ補修について前年6月に補修を行い、その後、9月より後発注の第4工区工事を今年2月まで行いました。施工当時補修対象外(幅0.20mm未満)であったひび割れが冬期の気温低下によるコンクリートの収縮で0.20mmに拡大し補修が必要とされる問題が発生しまし</p>	<p>ひびわれについては、幅や原因に応じて、補修の要否・方法を検討してまいります。工期については、工期設定実施要領に基づき適切に設定してまいります。</p>	<p>道路整備課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

<p>た。今回の4工区工期内で対応できましたが、場合によっては足場撤去後のタイミングであれば補修不可能であったかと思われます。今後は0.2mm未満の補修決定の要否や工期設定について検討して頂きたい。</p> <p>「令和4年度(国)136号橋梁補修工事(天狗橋第3,4工区)」(下田土木事務所)</p>		
<p>3. 情報共有システム上で書類を提出しましたが、承認されるまでに時間がかかりました。また工事監理連絡会で挙げた質疑事項について確認を求めましたが、回答に時間がかかりました。早急に対応して頂きたい。</p> <p>「令和4年度 二級河川馬込川大規模特定河川対策工事(河床掘削工 ICT)」(浜松土木事務所)</p>	<p>提出された書類の内容によっては、速やかな回答が困難なケースも想定されます。そうした場合は、取り急ぎ回答日の予定を現場代理人にお伝えするなど、引き続き、ワンデーレスポンスに資する発注者側の意識啓発を図ってまいります。</p>	<p>技術調査課</p>
<p>4. 工法について、不可能な施工方法や、メーカーカタログ上の数字ではなく、施工現場、地域特性に沿った可能な方法で設計を行って頂きたい。</p> <p>「令和3年度 俵沢田端災害関連急傾斜地崩壊対策工事(法面工)」(静岡土木事務所)</p>	<p>工法については、地形条件や現場状況を考慮して設計するよう周知を図ります。契約後に判明した場合は、設計変更の必要性を十分に整理の上協議するようお願いします。</p>	<p>砂防課</p>
<p>5. 設計と現地の差異による設計変更が生じ、工期延長となりました。精度の高い設計をお願いしたい。</p> <p>「令和4年度(一)相俣岡部線橋梁耐震対策工事(落合橋 耐震補強工)」(島田土木事務所)</p>	<p>現場条件を正確に把握した設計書の作成、工期設定の周知徹底に努めます。</p>	<p>技術調査課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

4. 設計変更・契約の問題点・要望点・提案事項

(変更書類、付加的業務、変更協議、変更金額、変更見積、工期延期、単価合意 等)

提案・要望	回答	担当課
<p>1. 資機材の単価が市場で高騰の場合、変更で差額を見てもらえるようにして頂きたい。 「令和4年度(国)136号舗装修繕工事」(沼津土木事務所修善寺支所)</p>	<p>契約後に生じた著しい物価高騰に対しては、スライド条項が適用できる場合があります。</p>	<p>技術調査課</p>
<p>2. 出勤要請による緊急対応でしたが、変更図面及び変更数量計算書等をすべて作成することとなりました。簡素化して頂きたい。 「令和4年度 狩野川西部幹線流域下水道改築管渠更生工事」(沼津土木事務所)</p>	<p>個別の案件に対しての回答は控えますが、変更図面等、設計変更に関わる資料の作成については、受発注者協議を経た上で作成費用を計上するケースや、受注者が行うべき作業で共通仮設費率計上分に含まれるケース等があります。</p>	<p>技術調査課 生活排水課</p>
<p>3. 変更時、標準積算に無いものは施工見積もりを採用して頂きたい。 「令和4年度 静浦港葦山停車場線舗装修繕工事」(沼津土木事務所)</p>	<p>妥当性が確認できれば、変更時に見積りによる施工歩掛を採用できる場合がありますので、監督員とご相談ください。</p>	<p>技術調査課</p>
<p>4. 砂防工事にて、本体工を施工しましたが当初は増額をおこない本体工を完成させる予定で発注者と打合せをしていましたが、年度も変わり繰越の予算なので出来る所までで打切りにして工事を終わらせてほしいとの通達がきました。砂防工事は本体から副堤及び側壁・水叩きまで一括施工しないと困難となってしまいます。砂防工事特有の条件も考慮して頂きたい。また年度予算で工事が途切れることのないよう考慮して頂きたい。 「令和4年度前田川支川湊北沢砂防工事(砂防堰堤工)」(下田土木事務所)</p>	<p>契約後の変更にあたっては、適正な範囲が施工できるよう発注者と受注者で十分協議していただき、その上で、過不足がある場合には事業費の増減に対応できるよう努めていきます。 また、年度内で工事が途切れないよう、債務負担行為の活用を周知してまいります。</p>	<p>砂防課</p>
<p>5. 工事評定の工程管理の項目において、工期延長があった場合は一律に評定が低い印象です。これについても、工期延長の理由が受注</p>	<p>土木工事共通仕様書「第1編共通編1-1-15 工期変更」のとおり、工期の変更について事前協議を行い、監督員と受注者で確認すること</p>	<p>工事検査課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

<p>者の責によるものなのか否かを明確に判定する事は出来ないでしょうか。</p> <p>「令和4年度(一)足柄停車場富士公園線道路改築工事(道路拡幅工)」(沼津土木事務所御殿場支所)</p>	<p>になっています。</p>	
<p>6. 材料費(埋戻し材:再生砂)の単価が購入価格3400円/m<sup>3</sup>なのに、設計価格2670円/m<sup>3</sup>(情報公開により確認)はおかしいと思います。適正単価による積算をお願いしたい。</p> <p>「令和4年度 共同溝関連工事」(沼津土木事務所都市計画課)</p> <p>「令和4年度 浜名港改修工事(消波工)」(浜松土木事務所)</p>	<p>建設物価・積算資料の対象地域は、それぞれの物価調査会社の実取引状況に基づき決定しており、それ以外の地域については、県が資材価格調査を実施し単価を決定しております。引き続き、市況を反映した適切な単価の設定に努めてまいります。</p>	<p>技術調査課</p>
<p>7. 設計変更書類(図面、数量計算書)について、『業者側が作成する変更資料は付加的業務である』という認識が事務所内に浸透していないように思われます。前年度工事でも議題にあげていますが、付加的業務に対する今後の方針について明確な回答を頂きたい。</p> <p>「令和4年度 堀留川国土強靱化対策(広域河川改修)工事(排水路工)」(浜松土木事務所)</p> <p>「令和4年度 堀留川広域河川改修工事(護岸工その2)」(浜松土木事務所)</p> <p>「令和3年度 俵沢田端災害関連急傾斜地崩壊対策工事(法面工)」(静岡土木事務所)</p>	<p>照査の結果、変更図面等、設計変更に関わる資料作成の必要が生じた際は、受発注者協議を経た上で作成費用を計上するケースや、受注者が行うべき作業で共通仮設費率計上分に含まれるケース等があります。このため、「静岡県設計変更ガイドライン(土木工事編)」をご確認の上監督員とご相談ください。</p>	<p>技術調査課</p>
<p>8. 残土処分の考え方について設計と施工に違いがあります。処分場の単価は『ほぐし土量』で精算され官積単価は『地山土量』で精算されます。以上を踏まえ土砂の場合、基本的にほぐし率の分だけ処分土量は多くなります。特に掘削土量が多くなるほど処分実績との差異が大きくなり工事原価を圧迫することから、他の官庁工事(国交省、浜松市)と同じように、積算時に代価表等でほぐし率を反映して頂くことはできないでしょうか。</p> <p>「令和4年度 堀留川広域河川改修工事(護岸工その2)」(浜松土木</p>	<p>令和5年3月27日付け「静岡県建設発生土処理施設一覧表の公表について(参考通知)」のとおり、令和5年度以降公表している処理施設一覧表の受入れ単価はすべてほぐした状態の単価としております。今後も引き続き、適切な設計計上について周知してまいります。</p>	<p>技術調査課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

<p>事務所)</p> <p>「令和4年度 修善寺天城湯ヶ島線道路改築工事(道路拡幅工)」          (沼津土木事務所 修善寺支所)「令和4年度 竹原B急傾斜地崩壊          対策工事(崩壊土砂防止柵工)」(沼津土木事務所 修善寺支所)</p> <p>「令和4年度(一)足柄停車場富士公園線道路改築工事(道路拡幅          工)」(沼津土木事務所御殿場支所)「令和4年度 二級河川一宮川河          川災害復旧工事(袋井土木事務所)「令和4年度 二級河川新川県土          強靱化対策工事(浚渫工)」(浜松土木事務所)「令和4年度(国)473          号道路改築工事(県道付替え工その2)」(島田土木事務所)</p> <p>「令和4年度(株)藤曲坂下No.2急傾斜地崩壊対策工事(斜面对策          工)」(沼津土木事務所御殿場支所)「令和4年度 一級河川八重沢川          4年災害復旧工事(掘削工)」(静岡土木事務所)「令和4年度 一級          河川浅間沢川4年災害復旧工事(掘削工)」(静岡土木事務所)</p>		
<p>9. 他業者施工(流用ケーソン撤去、据付)が遅延したのにも関わら          ず供用開始日の変更はなく、工期延長はできても施工完了日の変更          はできないとの事で昼夜施工を余儀なくされました。適正な工期設          定、現場条件に見合った適正な工期設定をお願いしたい。</p> <p>「令和4年度(国)473号道路改築工事(道路拡幅工)」(島田土木          事務所)</p>	<p>現場条件を正確に把握した工期設定の周知徹底に努めます。</p>	<p>技術調査          課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

5. その他

(工事検査、工事成績評定、書類の簡素化、ワンデーレスポンス、VE提案、監督員の対応、新型コロナの影響、CPDSの取得、週休2日制、マイレージ制度等)

提案・要望	回答	担当課
<p>1. 情報共有システムで提出した書類を完成書類にも紙で印刷してほしいとの要望がありましたが書類簡素化のために情報共有システムを導入しているのではないのでしょうか。改善頂きたい。</p> <p>「令和4年度(国)136号道路維持(災害工事費)工事(舗装復旧工)」(沼津土木事務所 修善寺支所)</p>	<p>静岡県情報共有・電子納品運用ガイドラインのとおり、電子納品されたものを紙に出力しないよう周知徹底に努めます。</p> <p>静岡県情報共有・電子納品運用ガイドライン7.3 検査実施【工事・業務】電子にて納品された完成図書は、紙に出力せずに情報共有システムや準備したデータをパソコンの画面で確認することにより検査を行います。紙媒体で作成された書類のみ、紙媒体で検査を行います。</p>	<p>技術調査課(建設ICT推進班)</p>
<p>2. 検査監によって考え方が変わるのでいかななものかと思えます。見解を統一して頂きたい。工事検査時、提示書類を提示していたが、検査員に検査書類への添付を求められました。違う検査監によっては減点対象になることもあるため統一をして頂きたい。</p> <p>「令和4年度 狩野川西部幹線流域下水道改築管渠更生工事」(沼津土木事務所) 「令和3年度 狩野川東部浄化センター独立管廊」(沼津土木事務所) 「令和3年度 俵沢田端災害関連急傾斜地崩壊対策工事(法面工)」(静岡土木事務所) 「令和4年度(都)志太中央幹線街路整備工事(道路工)」(島田土木事務所)</p>	<p>昨年度、「土木工事書類作成提出要領 令和4年7月」を策定し提出すべき書類と提示で良い書類を明確にしました。これに基づき、書類の作成、整理をお願いします。</p>	<p>工事検査課</p>
<p>3. 工事成績評定について週休二日推進工事、3次元データ納品工事、建設キャリアアップシステム活用工事は特記仕様書にて『工事成績評定の創意工夫の項目で評価するものとする』と記載されています。工事検査結果通知書では備考欄に上記の工事が達成出来た項目が記載されていますが項目別評定点では創意工夫で〇点としか記</p>	<p>〇工事検査課</p> <p>「創意工夫」は、担当監督員の考査項目となっています。当該工事特有の難度の高い条件を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目です。完成検査後などに担当監督員に、何が良かったのか確認をお願いします</p>	<p>工事検査課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

<p>載されていません。創意工夫は色々な項目がありますが、どの項目で何点かわかりません。創意工夫の詳細な点数を記載して頂きたい。施工で創意工夫を行ったどの項目が評価されているか知りたいですし自社の良い所、弱い所が分かれば今後より良い物が作れると思っています。よろしくお願いします。</p> <p>「令和4年度(主)熱海大仁線舗装繕工事(切削オーバーレイ工)」(沼津土木事務所 修善寺支所)「令和4年度 青野川支川谷戸山沢砂防工事(工事用道路工)」(下田土木事務所)「令和4年度 前田川支川湊北沢砂防工事(砂防堰堤工)」(下田土木事務所)</p> <p>「令和4年度 二級河川二条川国土強靱化対策(総合流域防災工事(根継工))」(下田土木事務所)「令和4年度 二級河川馬込川大規模特定河川対策工事(河床掘削工 ICT)」(浜松土木事務所)</p>	<p>す。</p>	
<p>4. 災害復旧工事や天候に左右される河川工事の現場は週休二日で施工するのは工期内に完成させるのは非常に困難です。河川工事については施工内容や現場の状況を加味し発注して頂きたい。</p> <p>「令和4年度 二級河川原野谷川4年河川災害復旧工事(護岸工)」(袋井土木事務所)</p>	<p>週休2日が確保できるよう、現場条件を正確に把握した工期設定の周知徹底に努めます。</p>	<p>技術調査課</p>
<p>5. 検査書類について通常の工事よりは緩和していましたが、災害復旧・応急工事の場合は極力最小限の書類として対応をして頂きたい。かつ工事評定をつけるのも無くして頂きたい。</p> <p>「令和4年度一級河川八十岡川4年災害復旧工事4年災害査定第41号(掘削工)」(静岡土木事務所)</p>	<p>「静岡県建設工事成績評定要領」第2条で当初契約額が500万円以上の建設工事を評定の対象としていますが、平成29年4月1日以降契約を行う工事で、災害応急仮工事は、評定を省略する事が出来るものとなりました。</p> <p>書類については、「土木工事書類作成提出要領 令和4年7月」に基づき、書類の作成、整理をお願いします。しかし、ご意見のあった災害応急工事について、工事規模の大小や、緊急性など状況に応じ柔軟な対応も考えられますので、その際には監督員に相談頂ければと思います。</p>	<p>工事検査課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

6. 要望したい情報提供について

(ICT施工、担い手確保、働き方改革、キャリアアップシステム 等)

提案・要望	回答	担当課
<p>1. 浄化センター内の工事特性を考慮し、創意工夫や地域貢献について評価から外す等、評価基準を見直して頂きたい。出来形や品質などの評点はよいのだが上記で書いた二項目が上がらず全体の工事評点が低く改善して頂きたい。</p> <p>「令和3年度 狩野川東部浄化センター独立管廊」(沼津土木事務所)</p>	<p>浄化センター内の工事であっても創意工夫や地域貢献などで取り組めるものがあると思います。「創意工夫」の工夫事項には、”その他”で評価も可能ですし、「地域貢献」にも、評価対象項目”その他”があります。積極的な提案、取組をお願いします。</p>	<p>工事検査課</p>
<p>2. 3次元データの納品方法について、講習会などの勉強会を開催して頂きたい。</p> <p>「令和3年度一級河川大場川3年河川災害復旧(過)工事3年災害査定第63号」(沼津土木事務所)</p>	<p>3次元データの取得方法については、データを初めて扱う方を対象とした「静岡県完成形状の3次元計測実施要領(案)の運用ガイドブック<sup>※1</sup>」を令和5年3月に発行するとともに、オンラインによる納品方法については、動画等を用いた解説サイト<sup>※2</sup>もあります。</p> <p>ご不明な点については、いつでもお問い合わせください。</p> <p>※1 <a href="https://www.pref.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/029/078/kannseigaidobukku.pdf">https://www.pref.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/029/078/kannseigaidobukku.pdf</a></p> <p>※2 <a href="https://www.pref.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/029/079/chirashi.pdf">https://www.pref.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/029/079/chirashi.pdf</a></p>	<p>未来まちづくり室</p>
<p>3. キャリアアップシステム導入を検討して実際導入をしましたが、技術者の登録が大変でした。現場の活用も実際カードリーダーを接続して行いましたが、それも難しく中小建設企業を考慮した簡単な方法に改善して頂きたい。</p> <p>「令和4年度一級河川大場川3年河川災害復旧(過)工事3年災害査定第61号」(沼津土木事務所)「令和4年度二級河川二条川国土強靱化対策(総合流域防災工事(根継工))」(下田土木事務所)</p> <p>「令和4年度(一)下土狩徳倉沼津港線道路改築工事(A2橋台工)」(沼津土木事務所)</p>	<p>キャリアアップシステムにつきましては、建設産業の担い手確保や技能者の処遇改善への効果が期待されており、県におきましても、キャリアアップシステム活用工事や格付での加点などにより、普及促進を図っているところでありますが、システムの運用方法等につきましては、全国共通のものとなっておりますので、機会をとらえて国への要望をしております。</p>	<p>建設業課</p>
<p>4. 年度末の繁忙期に、工期の関係上、雨天の影響で土曜施工が必要となり、働き方改革の影響で材料の出荷業者が休みの場合、出荷業</p>	<p>工事の発注にあたっては、標準的な雨天日数等の不稼働日を考慮し週休2日が確保できる工期設定を行っています。天候の不良、関連</p>	<p>技術調査課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

<p>者に稼働を依頼すると休日出勤手当等の費用が加算されます。追加となった費用は設計変更可能なのでしょうか。(東部地区)</p>	<p>工事の調整、その他受注者の責めに帰すことができない事由により工期内に完成することができない場合は、その理由を明示した書面を発注者に提出し、工期延長変更を請求してください。</p>	
<p>5. 交通誘導員不測の対応に、工事用信号機をもっと活用して頂きたい。県内ではあまり見られませんが、愛知・長野県では多く見られます。また、自社警備も条件が厳しく対応が難しいので改善頂きたい。(西部地区)</p>	<p>工事用信号機が活用可能な箇所については積極的に活用を促してまいります。自家警備の条件については、具体的にどの条件が厳しいかお聞かせいただき、実態や課題を踏まえ、必要に応じて制度の改正を検討してまいります。</p>	<p>道路保全課 技術調査課</p>
<p>6. 災害応急工事について災害後直ちに対応することは普通ですが、工事契約後に各種書類を後出し作成するのは非常に大変です。必要最小限の書類を提出災害応急工事の柔軟に考えたマニュアル作成をお願いします。(西部地区)</p>	<p>「土木工事書類作成提出要領 令和4年7月」に基づき、書類の作成、整理をお願いします。しかし、ご意見のあった災害応急工事について、工種、工事規模の大小や、緊急性など状況に応じ柔軟な対応も考えられますので、その際には監督員に相談頂ければと思います。当該マニュアルの作成関連については、災害応急工事の書類提出条件の設定などに課題があり、逆に現場の迅速性に影響を与えかねないと考えます。</p>	<p>工事検査課</p>
<p>7. ふじ丸デーについて、もし土曜日に施工を行いたい場合の理由が「天候では不可」とのことですが、止む無く施工をする場合許される理由について教えて頂きたい。(西部地区)</p>	<p>災害対応・復旧工事等緊急性が高い工事及び工程上やむを得ない工事がふじ丸デーの対象外となります。</p>	<p>建設業課</p>
<p>8. ICT 活用(土工・法面工)工事で協議しましたが災害工事の為、設計計上はできないとの回答のため受注者負担にて施工を行いました。より多くの危険を伴う災害工事だからこそ、ICT 活用工事の採用をして頂きたい。また、災害時においては ICT 活用工事の提出書類や出来形管理についても柔軟に対応して頂き、当初計画点群データ及び現場での ICT 機械の使用状況確認程度にして頂きたい。(西部地区)</p>	<p>現状、災害復旧事業では ICT 活用の費用を計上することができません。ただし、真に必要な現場については、発注者と協議して県単独費などで対応することも考えられますので土木事務所とご相談ください。ICT 建機使用に伴う費用計上につきましても、機会をとらえて国への要望をしてまいります。</p>	<p>土木防災課</p>
<p>9. 監理タイムマネジメント記録について、検査終了時に検査官に提出します。総括、主任、担当が確認できるようになっていますが、金額によっては総括監督員が出張所長・課長ではなく班長になりま</p>	<p>ご意見のケースがあったことは残念です。完成検査時に監理タイムマネジメントの記録を、まず検査監に提出することは、このような件の防止になりますが、提出していただいた記録について書き直し</p>	<p>工事検査課</p>

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

<p>す。取組結果に (○) 以外をつける事は困難で (△) を付けたところ書き直しを要求されることがありました。タイムマネジメントの本来の意味、透明性を考慮すれば上記のことがないように改善して頂きたい。(東部地区)</p>	<p>や修正を要求される場合は、同意できるかどうか協議し、確認していただければと考えます。</p>	
--	---	--